

17○街衢…まち、ちまた。又、四通八達の道。街巷。

『墨子』「號令」に「置署隧街衢階若門」の一文が、又『文選』班固の「西都賦」に「内則街衢洞達」の用例が見える。

○霧幕…雲などのおおい垂れたるさま。

18○原野…のはら。

『文華秀麗集』「6 奉和春日江亭閑望一首 巨識人」に「園林半灼灼、原野盡芊芊」の類似句が見える。

○芊芊…草の茂って盛なさま。

『廣雅』「釋訓」に「芊芊、茂也」とある。

『漢語大詞典』には「①草木茂盛貌」と説明し、『列子』「力命」の「美哉國乎、鬱々芊芊」の例を取る。又「②蒼翠、碧緑」とも説き、『文選』宋玉「高唐賦」の「仰視山巔、蕭何芊芊」。一本作「千千」、李善注、千千、青也。千、芊古字通。李周翰注、芊芊山色也。の用例を引く。

19○傳馬…馭馬。宿つぎの馬。「傳」は「馭舎」「馭に備えられた車馬」のことを指す。

『漢語大詞典』では「驛站所用的馬」と説明し、『漢書』「昭帝紀」の「頗省乘輿馬及苑馬、以補邊部三輔傳馬。顔師古注引、張晏曰、驛馬也」の一文を載せる。↓補説①

○蹄 …馬のひづめ。馬蹄。